六角川・牛津川の排水ポンプ場の現状

○六角川及び牛津川水系においては河川改修の進捗とともに、昭和５０年代から河川事業、農林関係事業、鉱害復旧事業等により、排水ポンプが設置されるようになり、現在、国及び自治体等で合計５９箇所の排水ポンプ場が設置（うち国交省管理１６箇所）されています。

■六角川では、排水能力５０m3/sの高橋排水機場をはじめとして、３６箇所（総排水容量約２２０m3/s）の排水ポンプ場が設置されています。
※うち国交省管理９箇所

■牛津川では、排水能力５０m3/sの牛津江排水機場をはじめとして、２３箇所（総排水容量約１４０m3/s）の排水ポンプ場が設置されています。
※うち国交省管理７箇所

これらの排水ポンプ場が全て稼働した場合、全体で約360m3/sの流量が洪水時に河川へ排出されることとなります。

※排水ポンプ場の位置はココをクリック